

韓国

SDGsに触れる
新しい学びと交流を韓国で!

教育旅行ガイド



지구 환경

地球環境を学ぶ



경제 산업

経済産業を学ぶ



역사·문화·평화

歴史・文化・平和を学ぶ



韓国観光公社
KOREA TOURISM ORGANIZATION

教育旅行を通して 未来世代交流の礎を

キムジャンシル
韓国観光公社 社長 金長実

韓日交流はコロナ禍を経て、再度活性化の兆しを見せています。また、近年日本のZ世代のK-Cultureと韓国旅行に対する関心は高く、希望する海外旅行先に韓国が選ばれるなど、緊密さを増しています。

両国の未来世代間の友情と相互理解、そしてそれを基にした持続的な交流の形成に、教育旅行はとても有効です。生徒たちには新しい学びと交流の機会を与え、両国の将来に強固な友情と信頼の土台を築く契機となるでしょう。

韓国は日本とのつながりが深く、日本全国各地からのアクセスも豊富。安全性も高く、費用面での負担も少なく済みませます。韓日教育旅行50年余の交流の歴史が今後も続くよう、日本の皆様の訪問を心からお待ちしています。



韓国教育旅行をおすすめする6つのポイント

1 日本全国からアクセス 至便で時差もなし

日本全国の都市から韓国を結ぶ航空便が多数就航しており、所要時間も1~2時間ほど。地域によっては船便によるアクセスも可能です。また、韓国と日本との間には時差もなく、短い日程でも現地での活動時間を長く取れ、充実した教育旅行が実施できます。

2 歴史文化を通した 長いつながり

韓国と日本は長い歴史の中で活発な交流を続けてきました。仏教や漢字など、韓半島（朝鮮半島）を経て日本へ伝わった文化もあり、そうした共通点を通してお互いの国の歴史や文化を改めて学ぶことで、相互交流の重要性などを再認識することができます。

3 ニーズに合わせた 交流プログラム

海外教育旅行を行う最大の目的でもある現地青少年との交流。次世代の若者たちの相互理解と友好関係を深める第一歩となり、生活文化を肌で体験することにもつながります。学校交流は文化交流の他に学科の特性を生かした交流活動など多彩なプログラムがあります。

4 多様な体験学習 プログラム

独自の文化を育んできた韓国ならではの、目的に合わせた体験プログラムをご提案しています。韓国料理作りや韓服体験はもちろん、若い世代に人気のK-POPを活用したダンス体験プログラムなどは身近な興味を通して韓国文化への理解を深められ、おすすめです。

5 多言語サービスなど 万全の受け入れ体制

世界各地の観光客を迎え入れる韓国では、安心・安全な旅を提供すべく、治安維持や衛生管理の徹底など、受け入れ体制の強化に取り組んでいます。また、日本語をはじめとする多言語での外国人向け案内やサービスを充実させ、万全の体制を整えています。

6 整備された交通機関

空路、高速道路、主要都市を結ぶ鉄道などの交通網が張り巡らされ、全国各地への安全な移動が可能です。特に都市部の地下鉄は日本語での案内や、乗車時の交通系ICカードシステムも整えられているので、自主行動の際などにも安心してご利用いただけます。

目次

- 2 教育旅行を通して未来世代交流の礎を
- 3 学習テーマ1 地球環境
- 4 学習テーマ2 経済産業
- 5 学習テーマ3 社会・人権・環境
- 6 学習テーマ4 歴史・文化・平和
- 7 学校交流プログラム
- 8 自主行動/班別行動プログラム
- 9 実施校体験談
- 10 モデルコース
- 12 韓国基本情報

本誌の情報は発行時（2023年11月）のものであり、発行以降に情報の変更が生じる可能性があります。本誌の内容に関して生じた損害、損失、権利侵害または迷惑について、韓国観光公社では責任を負いかねますのでご了承ください。

©韓国観光公社2023



韓国のSDGsの取り組みを通して 地球環境に配慮したまちづくりなどを学ぶ

SDGsなど環境保護に関する活動は、国の枠を越えた重要なテーマの一つ。韓国では古い建物の再利用によるまちづくりや資源再利用に関する教育が進められています。これらの取り組みにふれることは、未来の社会や環境問題について考える契機になるでしょう。



産業遺構を文化施設に活用 麻浦文化備蓄基地



韓国高度成長時代を支えた石油備蓄基地を複合文化空間「麻浦文化備蓄基地」として再構築。石油備蓄タンクのデザインを生かしつつホール、展示場、情報交流センターや公園、カフェなどに再生し、市民の交流・憩いの場として活用しつつ、韓国の歴史も伝えている例を学ぶ。



©정상현・ソウルの公園

[DATA]

料金：無料
 営業時間：文化備蓄基地 00:00~24:00 / Cafe Tank6 10:00~19:00
 ※各施設運営時間 10:00~18:00
 休館日：月曜日 (Cafe Tank6、展示館) / 公園は年中開放
 公式WEBサイト：<https://parks.seoul.go.kr> (英語・韓国語)

ソウル特別市 麻浦区

アップサイクルのさらに先を学ぶ ソウル新活用プラザ



使用済み資源を再加工し、価値のある製品に再生するアップサイクル。「ソウル新活用プラザ」はこのリサイクルのさらに先をいく資源活用が学べる地下2階・地上5階からなる世界最大規模の複合文化施設。使用済み資源の回収から加工、製品の生産と販売までの工程が体験できる。



©ソウルデザイン財団ソウル新活用プラザ

[DATA]

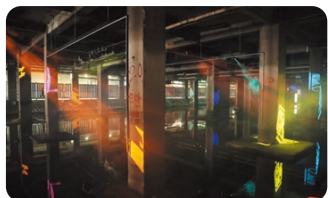
料金：無料
 営業時間：月~土 10:00~18:00 (土曜のみ予約制)
 休館日：日曜、元日、秋夕
 公式WEBサイト：<http://www.seoulup.or.kr/> (英語・韓国語)

ソウル特別市 鐘路区

放置地下通路を芸術散策路に 弘済流縁



約50年間放置されていた商店街地下道を遊歩道兼ギャラリーに再生。市民に憩いと美術にふれる機会を提供することを目的に、韓国のアーティストが参加し、光や音を活用した、約500メートルに及ぶアート散策路を創生した。古い建物の再生活用例に触れることができる。



[DATA]

料金：無料
 利用時間：10:00~22:00
 公式WEBサイト：https://japanese.visitseoul.net/hallyu/Destinations-for-Walks-at-Night-in-Seoul-jp_/35139

ソウル特別市 西大門区

ゴミの埋め立て地を緑の公園に



ハナル公園、ワールドカップ公園

ハナル公園やワールドカップ公園一帯はゴミ集積地を緑豊かな地に再生させた地域で、現在は市民の憩いの場。埋め立てた約9200万トンのゴミの汚染物は徹底的に浄化し、公園の街灯は園内の風力発電で供給。現在では池や庭園、芝生の広場、森林が育ち、ハナル公園のススキの植栽地は秋の名所に。訪れることで緑地再生事例としての実体験が可能。



[DATA]

料金：無料
 公式WEBサイト：<https://parks.seoul.go.kr/> (英語・韓国語)

ソウル特別市 麻浦区

街中にリサイクルボックスを設置し再生へ

韓国リサイクルボックス



リサイクル可能な服やカバンなどを入れられるボックスを街中に設置。衣類等は寄付したり、布製品にリサイクルするといった施策を実施している。また生ごみ処理は、コンポスト化を義務化しリサイクル率95%に。家庭の資源ごみの仕分けも自治体で徹底している。





韓国経済を代表する国際的な企業を訪問し グローバル経済&産業について学ぶ

経済発展著しい韓国を代表する自動車産業、情報・通信産業などの施設を訪ね、経済活動を通してのSDGsへの取り組みや、グローバル社会における企業の役割などを学びます。韓方化粧品メーカーでは韓国の健康に対する生活文化にも触れられます。



ツアーを通して車の製造過程を体験

現代自動車スタジオ高陽

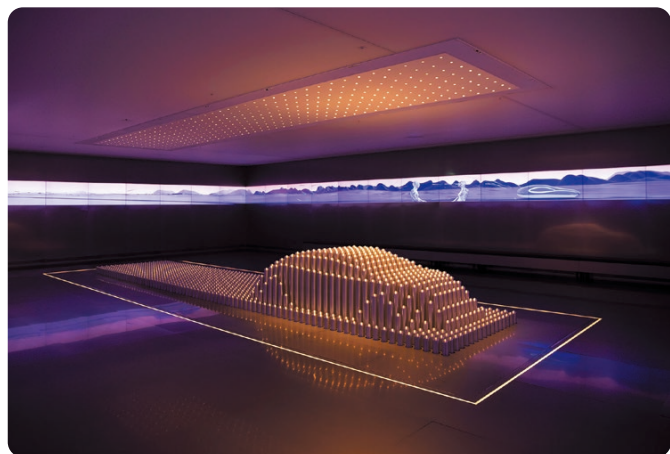
世界五指に入る韓国の大手自動車メーカー「現代」が運営する、体験型自動車テーマパーク。これまで製造した現代の自動車から最新のEV車などの展示のほか、1台の車が造られる過程、工夫された機能、安全や環境への取り組みといった多様な角度から、グローバル企業の最先端の取り組みに触れることができる。また体験エリアでは、レースの疑似体験ができる4Dシアターや実際に操縦ができるレーシングカーシミュレーター、走行中の空気抵抗や自動車の強度などを視覚的に体験するエリアなど、身体を使って学ぶことができる。



[DATA]

京畿道 高陽市

所在地：京畿道高陽市一山西区キンテックス路217-6
料金：大人（19～64歳）1万ウォン／中学生・高校生 7000ウォン
営業時間：9:00～20:00
休館日：毎週月曜日、1月1日、旧正月／秋夕の当日と翌日
公式WEBサイト：<https://motorstudio.hyundai.com/goyang/>（英語・韓国語）



ICTがもたらす2053年の未来都市を体験

SKテレコム ティウム

韓国最大の通信会社、SKテレコムが運営する韓国を代表するICT体験施設。ICTを活用した技術により医療や宇宙産業、ロボット技術などが、どのように変化、または進化していくかを学び、最先端のスマートシティで、環境と人間、技術が共存する持続可能な生活を体験できる。



[DATA]

ソウル特別市 中区

所在地：ソウル特別市中区乙支路 65 SK Tタワー
料金：無料
営業時間：平日 9:00～18:00
休館日：週末、祝日、メーデー（5月1日）、毎月最終月曜日（システム定期点検）
公式WEBサイト：<https://tum.sktelecom.com/>（英語・韓国語）

韓方化粧品づくりを通し健康について学ぶ

ハヌルホス

自然由来の植物性原料だけで製造した韓方化粧品の会社で、女性オーナーがゼロから起業。本社はソウルから約2時間の自然豊かな居昌にある。韓方のオリジナル化粧品作り体験を通して韓国の健康文化や、SDGsなど環境に配慮した企業活動の取り組みを学ぶことができる。



[DATA] 居昌本社

慶尚南道 居昌郡

所在地：慶尚南道居昌郡北上面ソング路793
料金：体験クラス 1クラス1万ウォン～（約60～90分）
営業時間：9:00～18:00
休館日：祝日
公式WEBサイト：<https://sky-lake.co.kr/>（英語・韓国語）

韓国英語村パジュ

韓国政府が運営。校外学習施設として実践的で効果的な英語プログラムを提供する。



公式WEBサイト：<https://www.english-village-paju.com/>

仁川広域市英語村

仁川広域市が運営。国際都市である仁川で市民の国際競争力を高め、グローバル人材を養成するために実用的な英語スキルを磨くことを目的として設立された機関。夏休みや冬休みの期間は、日本を含む海外の学生を対象にした、グローバルなキャンプも開催しており、多国籍のクラスメイトと英語や他の文化について学ぶことができる。



公式WEBサイト：<https://icev.go.kr/sub/intro/intro02.php>（韓国語）



環境保護、社会貢献、倫理経営を実践する「ESG経営」を理解し、韓国の現状を学ぶ

SDGsや持続可能な社会構築、地球環境や社会的弱者などに対する取り組みは、いまや国際的指標の一つであり、一国だけの問題ではなくなっています。干潟を題材にした自然・環境問題、ソウルの都市再活性化などの事例は、社会問題を身近に考えるきっかけを提供します。



世界遺産の干潟で地球環境の問題を学ぶ

韓国の干潟

韓国の干潟は韓国南部の5地域にまたがり、世界5大干潟地域と呼ばれる。絶滅危惧種の鳥類を含む世界的に希少な動植物の宝庫「新安干潟センター」では干潟に暮らすさまざまな生物や、干潟が地球環境保全に与える役割などを映像を通して学ぶことができる。



[DATA] 新安干潟センター

所在地：全羅南道新安郡曾島面智島曾島路1766-30
 営業時間：平日 9:00~17:00 / 土日 9:00~16:30
 休館日：月曜日
 料金：大人 2000ウォン

全羅南道 新安郡

靴工場や町工場街の再活用事例にふれる

聖水洞／文来洞

聖水洞は若者たちに人気のスポット。靴や自動車部品の工場が集まる地域が環境を意識したカフェやショップの並ぶ地域に生まれ変わった。文来洞はかつて賑わった町工場地域の空き家に若い芸術家が住むようになり、レトロさと斬新さが共存する独特の地域が誕生している。



[DATA]

聖水洞 所在地：ソウル特別市ソンドン区
 公式WEBサイト：
<https://japanese.visitkorea.or.kr/svc/contents/infoHtmlView.do?vcontentsId=134853>

文来洞 所在地：ソウル特別市永登浦区
 公式WEBサイト：
<https://www.ydp.go.kr/japanese/contents.do?key=4236&>

ソウル特別市



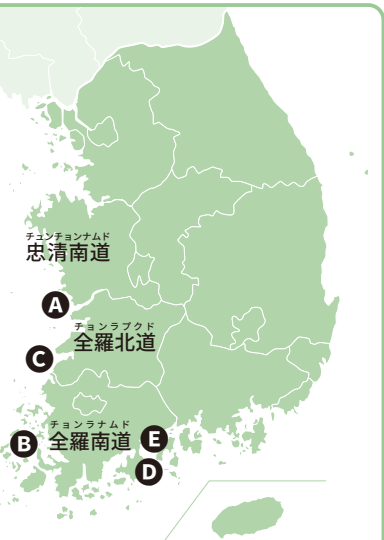
聖水洞



文来洞

干潟所在地

- A** 舒川干潟
忠清南道 舒川郡
- B** 新安干潟
全羅南道 新安郡
- C** 高敞干潟
全羅北道 高敞郡
- D** 宝城干潟
全羅南道 宝城郡
- E** 順天干潟
全羅南道 順天市



「韓国の干潟」公式WEBサイト

https://japanese.visitkorea.or.kr/web_book/jpn/getbol_pc/index.html



韓国観光公社が取り組むESG



環境に配慮した経営は、観光産業を含め、地球上のあらゆる産業にとって必須のもの。韓国観光公社も持続可能なグローバル競争力の確保と、社会的責任の遂行能力強化のため、ESG経営実践を柱に観光環境の改善に取り組んでいる。

ESG経営とは環境保護 (Environment)、社会貢献 (Social)、倫理経営 (Governance) の意味で、「E」ではグリーンエネルギー利用や社内および地域でのエコキャンペーン、「S」については観光地のバリアフリー化に向けた取り組み、観光ベンチャーの発掘育成および融合複合新事業などによる雇用創出や社会的弱者の採用、「G」は公正な社会・倫理的で公正な観光政策などの取り組みが挙げられる。これに基づいてエコ低炭素旅行プログラムの開発、エコ非対面レジャー観光プログラムの活性化、地域社会共同環境保護認識拡散キャンペーン、新型コロナウイルス感染症対応安全旅行コンテンツの開発や観光宿泊安全網の構築、観光客対象24時間安全通訳サービスなどが実現に移されている。

ビーチクリーニングのボランティア体験 濟州島



濟州島では韓国観光公社などのバックアップのもと、ビーチや散策路のゴミ拾いを行うビーチクリーニングに注力している。拾ったゴミの量に応じてお菓子がもらえるなど、楽しみながらできるボランティアを通し、自然景観保護の大切さを学ぶ機会になっている。

歴史・文化・平和

韓国の歴史・文化に触れながら 日本との共通点、平和の意味について学ぶ

韓国と日本には長い交流の歴史があり、博物館や遺跡を訪れると共通点や異なる点など、それぞれの国の個性について新たな発見が見出せます。また非武装地帯(DMZ)を訪れることで、国が分断された歴史や平和の尊さを体験することができます。



世界唯一の非武装地帯で平和の大切さを知る

DMZ (De Militarized Zone / 非武装地帯)

事実上、韓国は世界唯一の分断国家。板門店や鰲頭山統一展望台などは、60年以上にわたり国が分断されているという戦争がもたらした影響を肌で実感することができる貴重な場所。戦争の教訓と平和の大切さを知るための文化遺産だ。



東アジアの歴史も学べ、日本語案内も充実

韓国の博物館を訪ねる

ソウル市内の博物館は日本語案内も充実しており、歴史、宮廷文化や民俗文化、言語など多様な切り口から学ぶことができる。なかでも国立中央博物館は韓国最大規模の博物館で、所蔵物は約22万点。韓日の共通点や違いを通し、東アジアの歴史も広く俯瞰できる。



韓国の世界遺産

韓国には現在文化遺産14件、自然遺産2件の、計16件の世界遺産があります。その中には日本と深い関わりを持つ史跡もあり、それらの遺構を通して両国の交流や歴史について学習することができます。以下、ソウル中心からアクセスしやすい韓国の代表的な世界遺産をご紹介します。

宗廟 (1394年創建 / 1995年登録)

ソウル特別市

朝鮮時代の歴代国王と王妃の霊碑が祀られている祠堂。5月に行われる宗廟祭礼は500年前の伝統的な祭礼を今に伝えるもので、人類無形文化遺産に登録されている。



水原華城 (1796年創建 / 1997年登録)

ソウル特別市

朝鮮王朝22代国王・正祖が築いた城郭。城郭の築城に使われた石材や煉瓦、攻防に関する構造などは、科学的にも最も韓国で優れているとの評価を受けている。



昌徳宮と後苑 (1405年創建 / 1997年登録)

ソウル特別市

景福宮の次に建てられた別宮で、多くの国王による政務が行われた王宮。当時の建物と庭園がほぼそのまま現存している。後苑は王族の憩いの場として使われていた。



百済歴史遺跡地区 (5~7世紀頃成立 / 2015年登録)

忠清南道公州市・扶余郡、全羅北道益山市

王宮や寺院の跡など8つの遺跡・古墳群で構成された遺跡群。中国・韓国・日本との交流を通して美術・文化の点でも発展した百済の歴史にふれることができる。



朝鮮王陵 (1408~1966年造成 / 2009年登録)

ソウル特別市、京畿道ほか

1392年から518年間続いた朝鮮王朝の歴代王と王妃の陵墓。ソウル市内の宣陵・靖陵、貞陵、懿陵のほか、京畿道、江原などに点在する40基が登録されている。



伽羅古墳群 (紀元前~6世紀頃成立 / 2023年登録)

慶尚北道、慶尚南道など

韓国の古代国家伽羅を代表する遺跡・古墳群で、慶尚北道高靈にある池山洞古墳群、慶尚南道金海の大成洞古墳群ら7つの遺跡で構成。韓国で16番目の世界遺産となった。



その他詳細は、韓国のユネスコ世界遺産WEBページへ
<https://japanese.visitkorea.or.kr/svc/thingsToDo/subUnesco.do>



学校交流プログラムを通して相互理解を深める

学校交流プログラムは、海外の同世代の学生たちと直接触れ合うことで異国文化を直接体験し、相互理解を深めるまたとない機会。海外修学旅行の最たる目的の一つでもあります。韓国の生徒たちは日本や世界への関心も高く、内容の濃い交流が期待できます。



航空、外食などを学ぶ観光特性化高校 テイル観光高等学校

観光産業に特化した高校で、ホテル航空科、外食産業科の4学科で構成。4年制大学や首都圏内の観光関連大学への進学率が高いのが特徴。外食系の学科は卒業と同時に「製菓産業技師」という国家資格が取得可能。グローバル力強化のため、定期的に九州でインターンシップ活動を実施しているほか、日本の高校とスイスのホテル・学校との交流も継続している。日本の学校との継続的な交流活動への意欲も高い学校。

[Information]

ソウル特別市 陽川区

学 科：ホテル航空科
ベーカリーデザート科
外食産業科
ビューティーアート科



公式WEBサイト：
<https://daeil-tour.sen.hs.kr/> (韓国語)

問い合わせ：国際交流担当
TEL：+82-70-4377-8834 (日本語/英語可)
Email：bmbi1023@gmail.com



韓国唯一のK-POP公演芸術科単一科高校 韓国K-POP高等学校

K-POP人材を養成する韓国初の正規文化芸術特性化高等学校で、開校は2020年。授業料は全額無料。ダンスやボーカル、ラップなど5クラスがあり、授業を受けながらコンテストやオーディションにも参加する。グローバルな人材育成も教育指針に掲げ、K-POPの歌詞で韓国語を学んだり、国弓、韓国式の茶道など韓国伝統文化を体験したり、K-POPを通じた韓日交流にも意欲的。奈良、静岡、愛知の青少年団体との交流実績もある。

[Information]

忠清南道 洪城郡

学 科：K-POP公演芸術科
クラス：ダンス、ダンスボーカル、
ボーカル、ラップ、MIDI



公式WEBサイト：
<http://k-pophs.cnehs.kr/main.do>
(韓国語・日本語)

問い合わせ：
教務室 TEL：+82-41-641-6433
行政室 TEL：+82-41-641-6434



通訳者育成に特化した観光専門高校 韓国観光高等学校

韓国初の観光特性化高校。英語、日本語、中国語の3つの通訳科で構成され、授業はネイティブによるレベル別チームティーチング授業や海外文化体験、外国語活性化プログラムなど。視野の広い国際感覚を持つ観光通訳士育成を目指している。現在、日本を含む14カ国27校と姉妹提携を締結しており、海外交流実績も豊富。相互交流を通して他国の文化を体験し、相互理解を深めるさまざまな国際交流プログラムも実施している。

[Information]

京畿道 平沢市

学 科：観光英語通訳科
観光日本語通訳科
観光中国語通訳科



公式WEBサイト：
<https://tourism-h.goepet.kr/tourism-h/main.do> (韓国語)

問い合わせ：国際交流担当
TEL：+82-31-612-5150 (日本語可)
Email：siluvia@korea.kr

韓国の教育制度

教育制度は初等学校(小学校)・中学校の義務教育と高等学校の6・3・3制。グローバル人材の育成を掲げ、初等学校から英語は必修。高校は一般高校と特性化高校(商業・工業高校等)のほか、芸術、体育、外国語、芸能などの人材育成特殊目的高校も人気。学校交流事業は、試験が終了する5月頃が季節もよくおすすめ。入学式前後の3月や、受験シーズンの11月と重なる時期は、控えた方がよい。

※韓国観光公社は韓国教育旅行協会と連携し学校間交流のマッチングをサポートしています。詳細については韓国観光公社までお問い合わせください。

高校の年間スケジュール例 (1・2年生基準)

学期	月	行事
1学期	3月	入学式・始業式
	4月	第1回校内試験(中間試験)
	5月	体育大会(学校により時期は異なる)
	6月	
	7月	第2回校内試験(期末試験) 夏休み
	8月	2学期始業式(8月後半)
	9月	
	10月	第1回校内試験(中間試験)/文化祭(学校により時期は異なる)
2学期	11月	大学修学能力試験(大学入学試験)
	12月	第2回校内試験(期末試験)
	1月	終業式・冬休み/卒業式(学校により時期は異なる)
	2月	春休み

事前学習で計画を立て目標を達成 生徒の自主性を育み、高い学習効果を実現

出発前に学習テーマを設定し計画を立て、少人数で協力し合いながら目的を達成する自主行動／班別行動。韓国は治安も良く公共交通機関のネットワークも整っている上に、日本語の案内も充実。安心して自主行動を行える環境が整っています。



首都ソウルの活気と最先端の熱気を感じる

Point.1 街歩き

明洞^{ミョンドン}は日本の若者にも人気のブティックやコスメの店が集まる繁華街。弘大^{ホンデ}周辺は活気ある学生街で、ギャラリーでは現代カルチャーに触れられる。工場地帯から変貌を遂げた聖水洞^{ソンストン}は個性的なカフェやギャラリーが集まるトレンドの発信地。カロスギル^{カンナム}は江南^{カンナム}にぎってのファッションエリアだ。

また「HiKR GROUND」はK-POP体験やメディアアート鑑賞ができるスポットで韓国観光公社が運営。観光案内センターや自由に休憩できるスポットもあり、自主行動中に気軽に旅の相談ができる。



韓屋村の散策で伝統文化に触れる

Point.2 歴史保存地区散策

歴史保存地区には伝統家屋の街並みが残り、昔ながらの家屋で人々が暮らす様子も見られる。北村韓屋村^{ブッチョン}は朝鮮時代の官吏や王族が住んだ地域で、約900棟が現存。益善洞韓屋村^{イソン}は100年ほど前の住宅街をカフェやショップとして再利用する様子にもふれられる。



移動には地下鉄を活用

ソウルの自主行動の移動には地下鉄利用が便利。20を超える路線が整備され、数字や色で分けられているので、ハングルが読めなくても困ることはない。車内や駅構内には日本語表記があるだけでなく、乗換駅では、日本語の車内放送があるのも安心。乗車には一般的には日本の交通系ICカードにあたる「T-Money」に一定額をチャージし活用することで大変スムーズに移動ができる。



緊急時の「1330」は電話&チャット対応可能

「1330」は韓国ではもちろん、日本からも利用できる観光通訳案内サービス。韓国の観光について24時間365日、日本語による電話やインターネットを通じた音声通話、チャット(文字)での問い合わせや相談ができる。万一の事故や急病時、自主行動中の通訳などでも活用できる。音声通話及びチャットは韓国観光公社「VISIT KOREA」画面に表示される1330のアイコンから利用可能。LINEやfacebookのチャット画面からも問い合わせが可能で、事前にアプリ「1330」を入れておくのもおすすめです。



韓国での教育旅行では具体的にどのようなことができ、どのような準備が必要なのか。移動や現地での具体的な行動や課題としてどのようなことが浮かび上がったのか。コロナ禍明けの2023年夏に韓国研修旅行を実施した、東京都立足立西高等学校の事例を紹介します。

高校時代の海外経験が 今後の人生への大きな財産に

東京都立足立西高等学校 主任教諭 志波昌明氏

オンラインで事前交流も

担当の志波昌明主任教諭はこれまで台湾や中国、ニュージーランドの訪日高校生やシンガポールへの修学旅行を通し、海外教育旅行に最も必要なのは同世代の学生との交流だと考えていました。

そこで韓国の日本語教員を通して情報収集をしたところ、韓国では第二外国語に日本語が設定されていることなどから交流の可能性を感じたと言います。生徒にリサーチをしたところ、K-POPやコスメ、ファッション、料理などへの興味が高いこともわかり、韓国研修旅行実施を目指し、事前学習を開始しました。

具体的には自由選択科目に韓国語講座を設定し、放課後には韓服体験や料理講座などを通して韓国の文化を学び、コロナ禍の際にはソウルの高校とオンライン交流の機会も設けました。スマートフォンの翻訳機能を使いながらコミュニケーションを取ろうとする生徒たちの姿を目にし、志波教諭は「史跡や名所旧跡訪問は彼らの興味からかけ離れていると感じ、交流を旅程の中心に据えることとし、ソウルで3校と交流を行うことにした」



学生たちの交流を旅程の中心に

と言います。訪問時期は韓国の受験や長期休暇のタイミングを考慮して7月か12月に絞り込み、最終的に7月に決定しました。

班活動を中心に3校と交流

交流校は現地日本語教師のネットワークなどを頼りに選び、日程は3泊4日としました。仁川到着後の移動はICカードインチョンを購入し、すべて公共交通機関を利用。宿泊はユースホステルに2泊しましたが、日本語対応もあり快適だったと言います。

2日目、3日目は景福宮キョンボクンやNソウルタワーの観光を織り交ぜながら、交流を開始。グループに分かれて弘大周辺など、若者に人気のエリアを訪れたり観光をしたり、一緒に昼食を食べたりしながらの交流を行いました。なかでも鐘路産業情報高校チョンロの生徒たちは日本語学習に特化していたため日本語が堪能で、交流もスムーズだったと言います。

日韓関係の知識も重要

この旅の様子は帰国後、文化祭で発表され「生徒のまとめたものを見ると、み



班別行動では人気のエリアも訪問



んなとても楽しんで活動していたことが伝わってくる」と志波教諭は振り返ります。旅の成果としては、交流を通して外国語の重要性を実感した生徒が多く、韓国語や英語などに対する学習意欲が高まっていることがうかがえました。

一方、交流を中心に据えたため韓国の歴史や文化、日韓関係の歴史を学ぶ時間的余裕がなかったのも課題の一つ。「韓国の生徒たちは日韓関係についての知識・意識が非常に高いが、日本側の生徒の知識が浅い。事前学習等でこのギャップを埋めていくことも、交流するうえで考えさせられた点」と言います。

今回交流した韓国側の学校からも「継続した交流を」という要望が出ており、同校ではオンラインを交えた交流を続けていっくほか、担当者が異動しても引き継げるシステム構築などを考えていきたいとしています。

最終日は生徒の希望を取り入れ、大手芸能事務所のSMエンタテインメントのショップに立ち寄ったのち仁川空港へ向かい、帰国の途に着きました。生徒からは「もっと交流したかった」という声が非常に多かったそうです。



帰国後の文化祭で成果を発表

【日程表】

- 旅行先：大韓民国 ソウル
- 時期：令和5(2023)年7月23日～26日
- 実施学年：高校第2学年・第3学年 生徒12名
- 引率教員：3名

【日程概要】

【1日目】7月23日(日)	成田国際空港 → 仁川国際空港 → ソウル市内観光(明洞夜市)
【2日目】7月24日(月)	ソウル市内観光(景福宮) → 現地高校生と交流(班別に市内弘大観光)
【3日目】7月25日(火)	ソウル現地高校生と交流(班別に市内観光) → ソウル市内観光(Nソウルタワー)
【4日目】7月26日(水)	ソウル市内観光(SMプロダクション) → 仁川国際空港 → 成田国際空港



テーマ ソウル・仁川の歴史、発展、文化を体験プログラムを通じて学ぶ

1 日目 韓国の歴史・文化・伝統を学ぶ

- 青瓦台
- 韓服で景福宮を散策、守門交代儀式を見学
- 通仁市場（お弁当カフェで市場グルメ体験）
- 北村韓屋村 & 三清洞韓屋伝統カフェ（自由行動）



2022年から一般開放された青瓦台

2 日目 交流校を訪問後ゲーム感覚で街を散策

- 交流校訪問
- 東大門デザインプラザ（DDP）
- 東大門で脱出ゲーム（謎解きをしながら街を散策）
- 漢江遊覧船で夜景観賞

3 日目 韓国の現代文化・韓流・産業を学ぶ

- HIKR GROUNDでK-POPミュージックビデオ撮影体験
- 明洞Beauty Playでビューティー体験後 明洞にて自由行動
- Nソウルタワー
- ノンバーバルミュージカル「NANTA」鑑賞

4 日目 仁川発展の歴史に触れて都市づくりについて学ぶ

- 国立世界文字博物館
- 開港場eジーツアー、仁川経済自由区域（IEFZ）の松島国際都市でGタワー入場、水上タクシー乗船
- 仁川国際空港から帰国



電気自動車で巡る開港場eジーツアー



テーマ ソウルの都市再生& ソウル周辺の歴史・平和について多角的に学ぶ

1 日目 ソウルの都市再生について学ぶ

- 文化駅ソウル284ーソウル路7017
- 麻浦文化備蓄基地（3p）見学後、フィールドワークを実施

2 日目 ソウル周辺の歴史・文化を学ぶ

- 韓国民俗村 & 韓服体験
- 水原華城（世界遺産）（6p）で弓道体験



水原華城

3 日目 交流校訪問、自由行動を通じてゼロウェイストなどSDGS⑫⑭の学びを深める

- 交流校訪問
- 聖水洞（5p）で自由行動
- カフェ「リアルワールド聖水」でミステリーホテルコンセプトの新感覚体感ゲームに挑戦
- ノンバーバル公演「ペインターズHERO」鑑賞

4 日目 DMZを見学し生態系の維持・平和の尊さを学ぶ

- DMZ（統一展望台、坡州臨津閣、自由の橋）
- 仁川国際空港から帰国



坡州臨津閣



釜山・慶州

テーマ 日本と歴史的に関係の深い釜山・慶州で
交流の歴史や重要性、都市再生について学ぶ

1 釜山の都市再生プロジェクトを学ぶ

- ヒンヨウル文化村
- カンカンイ芸術村



カンカンイ芸術村

2 新羅の都・慶州を訪れ世界遺産巡り
～古代の歴史と伝統文化に触れる

- 仏国寺 ブルグクサ 世界遺産
- 石窟庵 ソックラム 世界遺産
- 慶州皇理団通り ファンニダン

3 交流校・釜山の最新スポットを訪問し
都市計画について学ぶ

- 交流校訪問
- ロッテワールドアドベンチャー釜山 ヘウンデ
- 海雲台ブルーラインパーク
- BUSAN X the Sky

4 汚染された港を再生した
都市再生プロジェクトについて学ぶ

- 長林浦口 ジャンリムポグ
- 金海国際空港から
帰国 キム



長林浦口 © Busan Metropolitan City



釜山・安東・ソウル

テーマ 韓国の歴史・新旧の文化に触れ
日本とのつながりを学ぶ

1 日韓交流の歴史・重要性について学ぶ

- 朝鮮通信使歴史博物館 カムチョン
- 甘川文化村
- 釜山ダイヤモンドタワー入場後、
南浦洞国際市場で自由行動 ナンポドン

2 学校交流+国際的な施設や最新スポットを
訪問し再生・文化・産業を学ぶ

- 交流校訪問
- ヌリマルAPECハウス
- F1963 ミラクザマーケット
- MILLAC THE MARKETで
自由行動



F1963 © Busan Metropolitan City

3 屋根のない博物館「安東」で
韓国に息づく儒教文学を学ぶ

- 河回村 ハフエマウル 世界遺産 で仮面劇を鑑賞
- 陶山書院 トサンソウオン 世界遺産
- 月映橋 ウォリヨングョ
- 安東から韓国高速鉄道KTXでソウルへ移動

4 多彩な体験プログラムを通じて
韓国の文化に触れる

- K-POPダンス体験
- 伝統市場を散策後
韓国料理体験プログラム
- ノンバーバルミュージカル
「JUMP」鑑賞



韓国料理体験プログラム

5 世界遺産見学、街歩きを通じて
歴史的資源を活用した街づくりを学ぶ

- 昌徳宮 チャンドックン 世界遺産 (6p)
- 益善洞で韓屋伝統カフェ体験 イクソンドン
- 仁川国際空港から帰国

韓国基本情報

国土・人口

国土の総面積は約10万33km²、人口は約5200万人（2022年、韓国統計庁による）。首都はソウル。公用語は韓国語で、文字はハングルが使われています。日本同様はっきりとした四季がある気候で、日本との時差はなく、体調管理がしやすいのも利点です。



充実の交通網

国内移動のための交通網が充実し、日本語の案内や放送もあり安心して利用できます。

◆高速鉄道

(KTX/SRT)

ソウルを中心とした首都圏と釜山、大邱、全州、麗水、光州、江陵などを約2～3時間で結びます。



◆地下鉄・電車

ソウル、仁川、大田、大邱、釜山、光州には地下鉄や新交通システムが整備され、全国共通の交通系ICカードで利用できます。

◆高速バス

高速道路網と高速バスのネットワークも整っており、高速バスは2つの都市をつなぐ直行運行。便数も多く気軽に移動できます。

Wi-Fi環境

韓国はWi-Fi環境が非常に整っており、空港や駅などの公共施設やホテル、繁華街など各所で無料のWi-Fiサービスの利用が可能。持参のスマートフォンが使えるほか、コンビニエンスストアではプリペイドSIMカードを販売しています。

観光ガイド・観光警察も常駐

ソウルの主要観光地には、ラウンド観光ガイドが常駐し、道案内、観光案内の対応をしています。日本語を話せる案内員も必ずいます。また、観光警察は観光に関するトラブルや苦情への対応を行います。



ラウンド観光ガイド

観光警察

学習の旅に役立つKTOのアプリ

韓国観光公社(KTO)では、快適に韓国旅行をしていただけるよう、無料のスマートフォンアプリ (iPhone用/Android用) をご用意しています。

◆VISIT KOREA

韓国の旅ガイド。見どころや料理、イベント、地図など、最新の情報が揃います。緊急連絡先や最新の為替レートなども調べられます。



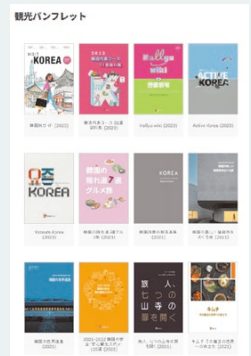
App Store (iOS)



Google Play (Android)

◆Korea Travel Books

KTOが発行する観光パンフレットなど、日本語の刊行物や地域やテーマごとの広報物が閲覧できます。



◆Odii

韓国各地の観光地で、日本語の音声案内が聞ける観光ガイドアプリ。ホテルのWi-Fiで音声をあらかじめダウンロードしておけば、時間のロスなく使えます。



※iOSのみ対応



◆1330観光通訳案内

困ったときに役立つ日本語観光通訳案内サービス。音声でも、チャットでも24時間365日、旅の情報や観光の問い合わせ、緊急時の通訳に活用できます。



韓国観光公社
KOREA TOURISM ORGANIZATION

本社 〒26464 大韓民国
江原特別自治道原州市世界路10
TEL +82-33-738-3000

東京支社 TEL 03-5369-1755 FAX 03-5369-1756 Email tokyo@visitkorea.or.kr
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-10 コリアセンター 6F
大阪支社 TEL 06-6942-0847 FAX 06-6942-0803 Email osaka@visitkorea.or.kr
〒540-6123 大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21 MIDタワー 23F
福岡支社 TEL 092-471-7174 FAX 092-474-8015 Email fukuoka@visitkorea.or.kr
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 朝日ビル 5階



公式ウェブサイト Visit Korea <https://japanese.visitkorea.or.kr/svc/main/index.do> (日本語)

日本地域公式インスタグラム
@kto.japan



日本公式YouTubeチャンネル
@kto_japan

